

天文現象とイベント

6月下旬に月と惑星の接近を見ることが出来ます。ただ、明け方に起こるため、早起しないと見ることが出来ません。ぜひ、早起（午前3時30分ころ）して見てみましょう。

また、天文台1階では期間展示を行っています。まもなく入れ替えとなりますので、まだ見ていない方はぜひ早めにご覧ください。

月と惑星の接近



6月22日の明け方、南東の空に昇った木星に、下弦を過ぎた月（月齢は22）が接近します。間隔は約3.5度と近く、7倍の双眼鏡で同一視野に見ることが出来ます。

6月23日には、火星と月（月齢23）が接近します。その間隔は約1.5度とかなり近く、こちらも7倍の双眼鏡で同一視野に見ることが出来ます。

ちなみに火星は12月の中接近に向けて、明るさがだんだんと明るくなっていきます。



6月26日には金星と細い月（月齢26）が並びます。また、すぐそばにはおうし座のすばる（プレアデス星団）を見ることが出来ます。月、金星、すばるを7倍双眼鏡で同一視野で見ることにはできませんが、月と金星、月とすばるの接近した様子を肉眼で見ることが出来ます。



※本文中の画像は、Astroarts/Stellanavigator を使って作成しました。

期間展示情報



1席の作品

現在、天文台1階では「第28回星景写真コンテスト入賞作品展」を行っています。95点の中から選ばれた素晴らしい作品16点を展示しています。展示期間は**6月19日（日）**までとなっています。まだご覧になっていない方はぜひ早めにご覧ください。そして、次の展示が6月22日（水）から始まります。「**星取県を楽しもう**」と題して、鳥取県内の天文愛好家の方が撮影された星の写真を中心に、「星取県」の美しい星空を紹介します。こちらもぜひご覧ください。

期間展示「星取県を楽しもう」

期間：6月22日（水）～9月19日（月・祝）

料金：一般（高校生以上）300円/中学生以下無料